

たかはぎ 議会だより



市営住宅に設置された
津波避難用の階段

平成26年 第3回定例会

会期 9月5日～9月24日

議案に対する質疑	3
委員会審査報告	5
討論	7
市政に対する一般質問	8



2014年11月5日 No.131

平成26年第3回定例会に提出された議案等

事件番号	件 名	内 容	審議結果
報告第13号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	議会の委任による市長の専決事項について報告するもの	—
報告第14号	高萩市健全化判断比率について	実質公債費比率17.2% 将来負担比率120.4%	—
報告第15号	高萩市資金不足比率について	水道事業と工業水道事業について資金不足はなかった。	—
議案第53号	高萩市監査委員の選任について	松本隆治氏(安良川)が任期満了となることから、引き続き選任するもの	原案同意
議案第54号	高萩市教育委員会の委員の任命について	鈴木幸男氏(上手綱)が任期満了となることから、引き続き任命するもの	原案同意
議案第55号	高萩市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	家庭的保育事業等が児童福祉法に基づく市の認可事業として新たに位置づけられ、その設備及び運営に関する基準について定めるもの	原案可決
議案第56号	高萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	教育・保育施設及び地域型保育事業の運営について、市が確認することになったことに伴い、その運営に関する基準について定めるもの	原案可決
議案第57号	高萩市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	放課後児童健全育成事業が地域子ども・子育て支援事業の一つに位置づけられ、その設備及び運営に関する基準について定めるもの	原案可決
議案第58号	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更について	地方自治法の改正により、規約中の引用条文に発生した条ずれについて、整備するもの	原案可決
議案第59号	平成26年度高萩市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれに3億2,306万1千円を追加するもの。内容は、防災行政無線整備事業の拡充、社会福祉施設のスプリンクラー設置への補助等。	原案可決
議案第60号	平成26年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれに152万5千円を追加するもの	原案可決
議案第61号	平成26年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	保険事業勘定の歳入歳出それぞれに5,880万4千円を追加するもの	原案可決
議案第62号	平成26年度高萩市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入及び支出において、水道事業費用を59万7千円減額するもの	原案可決
議案第63号	平成26年度高萩市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入及び支出において、6万2千円増額するもの	原案可決
議案第64号	平成25年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入135億2,348万7,750円 歳出127億3,761万5,259円	原案可決
議案第65号	平成25年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入33億8,027万9,946円 歳出33億7,946万1,192円	原案可決
議案第66号	平成25年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入2億8,717万2,540円 歳出2億8,568万4,040円	原案可決
議案第67号	平成25年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入25億2,366万3,773円 歳出24億6,438万3,534円	原案可決

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第68号	平成25年度高萩市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入1,860万3,186円 歳出1,775万3,471円	原案可決
議案第69号	平成25年度高萩市水道事業会計決算認定について	収益的収入7億662万9,070円、収益的支出5億4,737万6,945円、資本的収入7,863万8,100円、資本的支出4億5,253万9,791円	原案可決
議案第70号	平成25年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	収益的収入1億9,195万7,399円、収益的支出1億4,234万8,084円、資本的支出6,685万2,314円	原案可決
議案第71号	高萩市水道事業会計利益の処分について	平成25年度の未処分利益剰余金8,989万7,695円のうち、8,000万円を減債積立金に積立て、残りを繰り越すもの	原案可決
議案第72号	高萩市工業用水道事業会計利益の処分について	平成25年度の未処分利益剰余金9,884万4,905円のうち、3,000万円を減債積立金に積立て、残りを繰り越すもの	原案可決
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ5人が参加するもの	原案可決
議案第73号	秋山小学校校舎改築工事請負契約の締結について	1億9,440万円で校舎改築工事の請負契約をするもの	原案可決
意見書案第4号	教育予算の拡充を求める意見書の提出について	教育予算の拡充を求める意見書を政府に提出するもの	原案決議

議案質疑

議案第56号 高萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

鈴木英樹 議員

質問 特定教育・保育施設である保育所、幼稚園及び認定こども園であります。この認定こども園というのは、現在高萩市内に存在しているのか。また、設置する予定があるのか。

健康福祉部長 市内においては、認定こども園はありません。ただ、来年4月から私立保育園が1園、認定こども園に移行する予定です。

質問 新制度では、幼稚園、認定こども園に対しても施設給付費を支出する、その試算額はどのくらいになるのか。そしてまた、その制度は、現在の保育所運営費と同じような考え方だと伺ったがそれでよいのか。

健康福祉部長 施設給付費の試算については、公定価格及び利用者負担金がまだ確定しておらず、試算ができない状況です。新制度は、保育所運営費と同じ考え方での支

出となります。

議案第57号 高萩市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

菊地正芳 議員

質問 小学3年生から小学6年生まで対象学年を拡大する内容であるが、定員を超えた場合の対応、国で定めている一人あたりのスペースは確保できるのか。入所申し込みのスケジュールは。指導員の質の向上への取り組みは。障害のある方の受け入れについては。時間延長への対応はどうするのか。以上伺う。



放課後児童クラブで過ごす子どもたち

健康福祉部長 現在の専用スペースで定員40名まで受け入れが可能ですので、十分対応できます。定員を超えた場合は、専用スペースを確保するなどして対応します。スケジュールについては、1月号の市報で利用申込み募集案内を掲載し、2月から一斉受付を行います。また、年度途中でも利用希望があれば随時受付をします。指導員については研修を実施しております。障害を抱えている方については現在も受け入れております。時間延長については、ニーズ調査を実施し調査研究してまいります。

議案第59号 平成26年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

平 正三 議員

質問 市道1348号線道路改良事業及び市道1560号線道路改良事業について伺いたい。

建設経済部長 市道1348号線道路改良事業は、国道461号の神宮司団地入口より約300メートル東の高萩小学校西門への入り口となっている国道から36メートルについて、交通安全対策のために擁壁工事及び舗装工事を予定している。



市道1348号線(国道461号から高萩小入口)

市道1560号線道路改良事業は、石滝公民館から70メートル西側に位置する、幅員1・8メートルから2・5メートル、延長約85メートルの生活道路を全線幅員4メートルに拡幅、拡張するために、道路側溝の設置及びアスファルト舗装を予定している。

今川敏宏 議員

質問 高萩こころの里支援寄付金記念品代13万円について、寄付金に対する感謝と御礼は大事であるが、記念品を遠慮する方のために申込書にチェック欄を設けてはどうか。

市長 内部で検討させていただく。

質問 被災農業者向け経営体育成支援事業費補助金1358万8千円について内容を伺う。

建設経済部長 本年2月に発生した記録的な大雪の被害を受けた農家で再建・修繕23軒と撤去24軒に対し、経営を継続するために必要なビニールハウス、倉庫の再建、修繕、撤去費用を補助するもの。



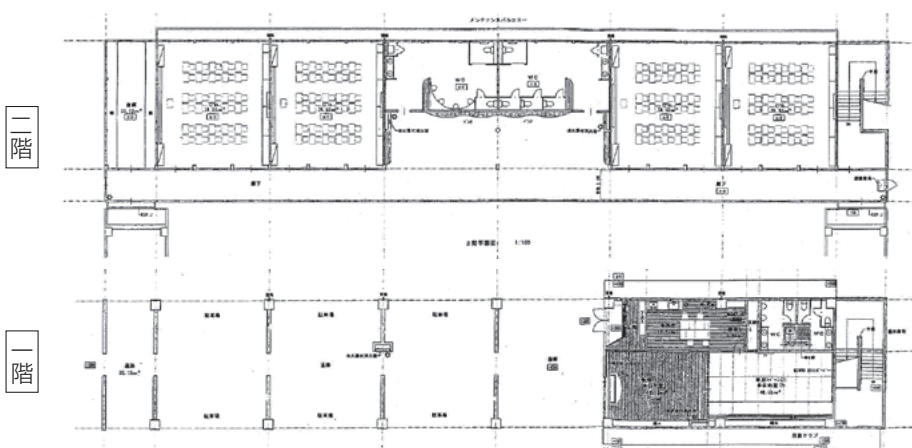
大雪により被災したビニールハウス

議案第73号 秋山小学校校舎改築工事請負契約の締結について

我妻康伸 議員

質問 校舎改築工事の概要、工事の日程について伺う。

教育部長 校舎の構造は鉄筋コンクリート一部木造の二階建てです。一階は児童クラブとなり、二階には普通教室4教室を建設するものです。その他いたしましたは既存の渡り廊下を利用することで、南校舎との接続を可能としました。また、一階の空きスペースに28台程度の駐車場を確保するものです。今後のスケジュールですが、平成26年度から平成27年度の継続事業として実施し、今回の工事の工期は300日を予定しています。平成27年7月末に完成となる見込みです。



総務建設経済委員会

9月16日、当委員会に付託された議案4件、陳情2件の審査と所管事項の質疑を行った。

○平成26年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

問 歳出のうち職員研修等経費696千円のうち研修旅費608千円の内訳は。

答 介護支援専門員更新研修に34千円、茨城県市町村振興協会主催の海外研修に34千円、グリーンふるさと振興機構派遣に93千円、総務省自治行政局行政経営支援室への自治実務研修に447千円となっています。総務省の平成26年度後期研修では、地方自治業務の標準化、効率化のほか、今後のマイナンバー制度の導入の調査研究もします。

問 歳入のうち、東日本大震災復興のための寄付金402千円が計上されているが、これまでの寄付金の総額と、その使途の内容は。

答 402千円は、平成26年度にいただいた24件の寄付金の合計です。平成23年から現在までの寄付金の合計は、272件で1億669万1千円になります。使途の大きなものは、災害ごみの処理経費等です。残金は

現在643万円となります。

問 公用車購入事業4055千円の内容は。

答 市長車購入の不足額を計上しました。当初予算と合わせて7478千円で市長車を購入し、現在の車は予備車として使用します。

問 急傾斜地崩壊対策負担金900千円の事業内容は。



工事予定の崩落箇所(石滝地内)

答 場所は石滝の海岸寄りの稲瀬川地区で、東日本大震災で斜面の崩落があった箇所です。茨城県の事業で、平成36年完成予定で、延長150m、高さ25mの特殊法枠工事をします。本年度は設計委託料として9000千円を計上しており、市の負担分として10分の1の900千円を計上しました。

高萩市の土砂災害危険地域に指定された35か所は防災マップに記載されています。その他の土砂災害警戒区域51か所はホームページにリンクしてあります。危険箇所が周知されるよう努力します。

問 農林業センサス経費208千円増額補正の内容は。

答 農林業の生産構造と就業構造を明らかにするための調査であり、今後の農林行政の立案、推進の基礎資料となります。県から示された指導員、調査員の報酬単価等の改訂によるものです。

問 農地・水保全共同活動支援交付金1068千円減額の理由は。

答 国の制度改正に伴って、多面的機能支払交付金制度に変わったためで、新規に農地維持支払交付金950千円と、資源向上支払交付金505千円を計上しました。

問 高萩こころの里支援寄付金記念品代62千円のと、寄付金記念品について他の市町村の調査をしたのかどうか。

答 寄付をしてくれた方へのお礼を充実するため、また高萩をPRして高萩の魅力を伝えるためです。県内44の市町村の調査をして、1万円以上の寄付には2千円程度、5万円以上の寄付には5千円程度の地域特産

品を進呈する案をつくりました。ホームページを利用して周知PRしていきます。

○総合運動広場設置に関する陳情書

問 8月の全員協議会で、グリーントウンてつな粗造成地利活用計画策定検討会の利活用計画(案)が提出されたが、今後の計画の進め方はどうか。

答 南側のCエリア約4・5haについては、オーダーメイドの空間にするという提案があったので、具体的な形態、財源の確保、アセットマネジメントと合わせて、今後精査検討します。計画案にあるスポーツ広場の実現の可能性についても、今後検討します。

採決 議会においても、調査検討を要するため、継続審査とする。

○労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める請願

請願趣旨の中の「解雇の金銭解決制度」は政府案に入っていない。「限定社員制度」と「ホワイトカラー・イグゼクティブ」は、国において現在、労働者側と経営者側で議論されている。「労働者派遣法改正案」は取り下げで廃案になっている。雇用・労働政策に係わる議論は、現在「労働政策審議会」で議論されている。
採決 賛成少数により不採択とする。

文教厚生委員会

第3回定例会

9月12日、当委員会に付託された議案6件の審査を行った。

○高萩市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

問 家庭的保育者など保育士でなくとも保育ができるようになった理由は。

答 都市部や離島などでも保育に従事する者を確保し、待機児童を解消するためと聞いている。

問 調理関係も委託することができるとのことだが、その理由は。

答 委託でもかまわない。調理設備の要件を満たせない場合は、委託でも可能と規定している。

要件の緩和は、各種の事業者が、参入しやすくするための観点からではないか。

○高萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

問 利用申込みに対し、拒否する正当な理由は、どんな場合が該当するのか。

答 例えば、障害があるから等の理由で申し込みを拒むことは正当な理由とならない。

問 施設型給付となっているが、今までは運営費給付だと思うがどう変わってくるのか。

答 現行の保育所運営費負担金等が施設型給付金に移行するものです。私立幼稚園、認定こども園関係が施設型給付を受けることになる。民間の保育園も施設型給付を受けるが、内容は現行と変わらない。

問 利用者負担額の受領、直接園が徴収することになるのか。

答 現在は、市のほうで徴収している。現行どおりの保育園の形態であれば同じように市が徴収する。

認定こども園は、こども園が保護者から、利用者負担金を徴収することになる。



東幼稚園

○高萩市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

問 放課後児童支援員で2年経験者というものがあるが、その人の要件と待遇は。

答 放課後児童クラブ等に継続的に2年以上従事し、かつ、勤務時間が2000時間程度ある方は、支援員の要件を満たしている。現在の児童クラブ指導員については、保育士等の有資格者と無資格者の賃金に差をつけている。

問 現在の児童クラブの定員はどうなっているのか。

答 公立クラブの合計は80人です。民間クラブにおいては170人の定員が確保されています。

問 開所日数250日以上と設定した理由は何ですか。

答 国の基準に合わせて設定している。土日を除いた日数上の計算でいきますと250日となりますので、250日以上開所と設定した。

問 この条例では、小学6年生まで入所枠が拡大されるが、アンケートでは124名の希望があり、全て公立でカバーしていけるのか。

答 民間及び公立で対処していけると考えている。

○平成26年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

問 個別予防接種経費について委託料985万円の内訳は。

答 10月1日から定期接種となる水痘(水ぼうそう)と、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の委託料として計上しました。水痘ワクチンの接種については全額公費負担となり、8000円の1285回分で873万8000円を計上し、高齢者の肺炎球菌ワクチンは65歳の方を対象者に公費負担分3200円、350人分、112万円を計上しました。高齢者の肺炎球菌ワクチンは、安定的に確実に予防接種を受けていただくために5年間の経過措置として65歳以上の5歳刻みで、70歳、75歳というように対象者を設定しています。また、定期接種以外の方で、高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種を希望する71歳からの方は、引き続き任意接種として、一部公費負担で接種できます。





耐震補強・改修が行われた秋山小学校体育館

委員会審査報告

決算特別委員会

決算に関する議案第64号から議案第72号までを審査するため決算特別委員会が9月11日に設置されました。議長と監査委員の議員を除く14人の議員が委員に選任され、9月18日と19日の2日間にわたり審査しました。予算の執行が適正に行われたか、期待された行政効果は達成されたのかなど質疑等が行われ、全ての議案について、可決すべきものと決定しました。

震災復興等対策特別委員会

9月19日、執行部から高萩市本庁舎再建（災害復旧）工事、基本設計の説明を受けましたが、これまでの計画に対して、建築面積の増大、事業費の大幅な増額を提示してきたため、会議を中断し後日あらためて委員会を開催することとしました。

請願・陳情の審議結果

件 名	結 果
総合運動広場設置に関する陳情書	継続審査
労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める請願	不採択
教育予算の拡充を求める請願	採 択

討

論

議案第64号 平成25年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について

反対討論 平 正三 議員

一つは、施設使用料の問題である。平成23年度使用料・手数料の見直しに関する基本方針の中で、施設使用料の算定方法に算定の基礎となる原価に人件費、物件費、建設費が含まれている。施設建設は、基本的に市民の税金で賄い、建設された施設は市民の共有財産である。施設使用料の算定に、建設費を含めると、市民に二重の負担を課すことになり、建設費は加えるべきではなく、人件費、物件費のみで算定すべきである。

二つは、市報等の新聞折込み配布問題点である。総務課資料による常会加入状況を見ると、常会長手当を廃止した平成20年5月1日の常会等加入世帯率は77・1％、6年後の平成26年5月1日は、7割を切り68・4％に減少している。常会の崩壊現象に歯止めをかけ、地域コミュニケーションの再構築と活性化をどのように

図っていくのか、市報等の配布問題再検討を含め、その対策が強く求められている。

反対討論 寺岡七郎 議員

F M放送は他市に比べて多額の負担であります。水戸市378万円、日立市162万円、高萩市は1540万円。市民一人当たりの負担額は、高萩は水戸市の37倍、日立市の44倍であります。F M放送には既に約7000万円の予算をつぎ込んでおります。高萩の財政事情から考えるならば膨大な予算であります。一方で、介護保険の見直しの審議をしております。しかし、保険料は月4975円で県内で二番目であります。今回の改正により要支援1・2の訪問介護、通所介護は市町村の責任で行うことになり、新たな財源が必要であります。しかしながら、現在でもトップクラスの保険料、これ以上の負担は考えられない。したがって、一般会計からの繰り入れをしなければならぬ。すでに全国で12市町村が繰り入れをしている。本来、民間の責任で行うべきF M放送に対して年間2000万円の公費を今後もつぎ込んでいくのか。命と暮らしに直結する介護保険を支えるために財源を使うべきである。



岩倉幹良 議員

高萩工業高校跡地人工芝 サッカー場について

質問 私 は人工芝サッカー場の敷地は行政財産であり、その敷地上につくられた施設は行政財産であり、また公の施設であると主張してまいりました。この施設が公の施設なのだから、地方自治法第244条の2の規定により、設置及び管理に関する条例を制定すべきであり、制定しなければ法第2条第16項の規定に抵触し、かつ、同条第17項に、前項の規定に違反して行った行為は無効とすると法は規定している。前市長に幾度となく条例を制定すべきであると質してまいりましたが、その都度当該跡地については明秀学園を誘致するために取得したものであり、将来的には同学園へ譲渡する考えであり、条例は制定するつもりはないの繰り返しでありました。

高萩工業高校跡地問題について、市長の考えを聞かせてください。

市長 人工芝サッカー場は日本スポーツ振興センターの助成を受けて整備をしたことから、現在市が管理をし、それ以外の部分は明秀

学園が管理を行っている。人工芝サッカー場は相当期間市が管理する必要があるので、跡地の管理区分をより明確にするため、本年度中に条例制定をする考えであります。人工芝サッカー場以外の部分については、明秀学園の要望を踏まえ来年3月末をもって、同学園に譲渡することとし、そのための準備を進めていきたい。



高萩工業高校跡地

その他の質問事項

○災害廃棄物仮置場整備工事について

○防災行政無線戸別受信機について



寺岡七郎 議員

介護保険について

質問 医療や介護の大きな改革が衆議院本会議で可決されました。その中に、要介護度が低い人向けのサービスの一部を市町村に移す介護保険の見直しがあります。今後は市町村の力量が問われ、地域の格差が予想されます。

①現在訪問・通所サービスに予算は幾らかかって、また、今後の見通しは。②介護保険は県内で2番目に高い保険料でトップとは月5円の差です。今後は一般会計からの繰り入れをしなければ成り立ってはいかないのではないかと。③要支援1・2の認定者数と実際サービスを受けている人数に差があるが、その理由は。

健康福祉部長 ①訪問介護、通所介護に要した給付費は合わせて3300万円になっています。今後の給付見込については、現段階では示すことができません。②介護保険の費用負担の割合は、市は12・5%と規定され、保険料を下げるための一般会計からの繰り出しについては、不適切であると判断しています。③サービスを受け

たいときにすぐ受けられるよう早めに申請しておくという状況があります。

質問 一般会計からの繰り入れは法令上12・5%で、それ以上繰り入れたからといって、それを禁じる規定はない。禁ずる規定がない以上、罰則、制裁はない。これが厚生労働省の答えなんです。それは政治判断でというのが国の見解です。一般会計からの繰り入れはあるかないかと言えば、選択肢はあると答えるのが正しいのではないかと。



その他の質問事項

○FMについて

○災害廃棄物仮置場整備工事について



小宅 誠議員

平和教育の

在り方について

質問 「核兵器廃絶・平和宣言都市」の高萩市です。市長にとって平和とは。また、小中学生を平和使節団として派遣してはどうか。

市長 私は、戦争のない平和な日本で育った人間です。現在の平和は、戦争という大きな犠牲と、先人たちの不断の努力の上に成り立っているものであり、これを次世代に残していくことが、私たちに課せられた責務であると考えています。

教育長 小中学校の国語科で戦争と人間の生き方を描いた文学的文章を授業に取り上げ、社会科では太平洋戦争について学び、戦争のない平和な世の中を築いていく、平和の大切さを考える授業をしています。

市長 小中学生の平和使節団の派遣は、前向きに検討していきます。

高浜スポーツ広場の

SLについて

質問 我が町のシンボル、蒸気機関車SLは鉄板部分の腐食や、黒ペンキの剥がれなど、老朽化した姿です。何か対策はあるのか。

市長 歴史を伝える教育的な資料として保存していきます。しかし車両の修繕には高額を要し、維持管理が困難であることが現実です。貸与元のJR東日本や「96を守る会」などと協議して今後に向け検討します。



高浜スポーツ広場のSL

甲状腺検査と

その対応について

質問 市民の健康不安を解消する目的で始めたこの事業、受診率をどう受け止めているか。甲状腺超音波検査の継続の陳情書が6月議会で採択されているがどう理解しているのか。

市長 25年度末で検査の目的は達成されたかと理解しています。国・県の責任において疫学的、集団的な検査を行っていくべきと考えています。



平 正三議員

コミュニティFMと

戸別受信機について

質問 たかはぎFMは、災害FMの役割をもって設立されたが、どのような認識をしているか。戸別受信機の全世帯への設置計画について伺いたい。

市長 たかはぎFMは災害発生後の身近できめ細かな情報伝達手段として有効なものと考えています。総務部長 戸別受信機の全世帯への設置計画はありません。



たかはぎFMのスタジオ

小中学校設備の改善と

対策について

質問 戸別受信機の全世帯への設置計画を持たないで、コミュニティFMを来年10月までに残すか残さないか判断すると言っているが、もし、重大な災害が起きたとき、情報手段がなくなり無責任である。

市長 27年10月に判断するということは、やめることではありません。勘違いしないように願います。

質問 設置経費を大幅に安くできる戸別受信機と同じ機能を持つ緊急告知FMラジオの設置について伺いたい。

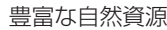
市長 今後検討していきます。

質問 小中学校のエアコン設置状況とエアコン設置の考えを伺いたい。小中学校のトイレ洋式改修計画は、どのようになっているのか。

教育部長 エアコンは保健室及びパソコン教室に設置されています。暑さ対策はエアコンや扇風機の設置を含め、今後検討していきます。

小中学校のトイレ洋式改修計画は、平成27年度は君田小中学校の耐震補強工事に合わせて実施する予定であり、今後は財政状況を調整しながら、順次実施していきたい。

その他の質問事項
○消防団員の処遇改善について



今川敏宏 議員

拡幅整備促進について

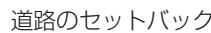
高萩市の活性化について

質問 自然資源豊富な高萩市は

ら多くのことを学べると思います。

例えば森林資源をもっと活用するとか、ゴミ処理経費を市内の経済効果に結び付けるとか、近代化さ

れたインフラを補うサブシステムが経済的不安を安心に変え豊かな暮らしになるなど、多くのメリットがあると思います。とりあえず、里山プロジェクトを立ち上げてはと思いますが見解を伺います。



市長 地域の持つ資源や価値観を活かして、自立した豊かな地域づくりにつなげていくことだと理解しています。さまざまな施策も市民が健康で生き生きと暮らせなければ活性化とは言えません。新たな価値観を見出せる施策を検討してまいりたいと考えています。

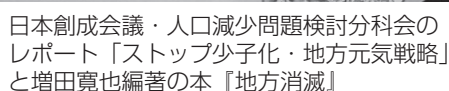
対応について

質問 平成17年から平成25年までの8年間の人口の推移はどうなっているのか。少子化対策や定住人口の確保を目的とする新規事業の実施状況はどうか。今後の人口減少・高齢化社会に対応する公共施設等の管理計画はどうなっているのか。

のか。

総務部長 総人口は、3万2,932人が2万9,815人になり、3117人が減少しました。年齢別人口では、14歳以下の年少人口が9,744人減少、15歳から64歳までの生産年齢人口が34,451人減少、65歳以上の老年人口は13,291人増加しています。本市の総人口は、少子高齢化が進行し、今後も減少傾向が続くと予想されます。

公共施設については、高萩市公共施設等管理計画基本方針案を作成し、公共施設面積削減38%、約5万8千平米の削減、公共施設のコスト削減70%、年間約13億5千万円の削減等を目標としています。



健康福祉部長 たかはぎ健康・子育て安心ダイヤルは、7月末までの2か月間で86件の相談がありました。新婚世帯支援事業としての家賃の助成については、9月8日までに20件の交付を決定しました。少子化対策強化のためのホームページ「はぎハピ」は、開設から20日間で、アクセス数が1689件、1日当たり84件となっています。

市長 人口減少対策については、子ども・子育て支援だけではないと認識しています。国に発足した「まち・ひと・しごと創生本部」の動きも注視して、萩っ子支援室を強化するなど、総合的に人口減少緩和に取り組みます。



菊地正芳 議員

胃がん対策について

質問 ピロリ菌を除菌する薬の保険適用の範囲が、慢性胃炎にまで拡大されたことを考えれば、検診で発見する時代から、予知し、予防し、そして撲滅する時代に入ったと言える。市が行っている胃がん検診、特定検診時に胃がんABCリスク検診を導入すべきと思うが見解を伺う。

健康福祉部長 国や県の動向を注視しながら慎重に調査研究してまいります。

ピロリ抗体測定の実施について

実施について

質問 本市において、学校検診で実施している尿検査が終わった後の尿を用いて、中学生を対象としたピロリ抗体測定を実施すべきと思うが見解を伺う。

教育部長 関係部局との連携を図るとともに、国や県の動向を注視してまいります。

認知症対策について

質問 市民の協力人数を拡大していくことが、本来に徘徊者の発見と保護のための力ぎを握っている

と思う。そこで、先進地の取り組みを参考に模擬訓練を実施してはどうか。

健康福祉部長 今後、調査研究してまいります。

AEDの

設置拡大について

質問 公共施設である学校や市役所などは、閉館以降や休日には使用できないという時間的な制約がある。そうすると、夜間・休日、市民が使えるAEDの数はかなり減少してしまう。そこで、24時間365日営業している、市内のコンビニへの設置と交番への設置について伺う。

市長 コンビニへの設置については、必要性を含め調査研究をしてまいります。交番については警察との話し合いの中で検討してまいります。



◆議会報告会を開催します◆

今年度、2回目の議会報告会を次の日程で開催いたします。

今回は、9月の第3回定例会について報告し、市政に関する情報を提供すると共に、皆さんの関心やご意見をお聞きたいします。

当日は、各会場に議員が3班に分かれてお伺いします。ご来場をお待ちしています。

期日及び時間	会 場
11月8日(土) 午後2時から	高浜スポーツ広場 (研修室)
	総合福祉センター (2階研修室)
	島名多目的研修会館
11月9日(日) 午後2時から	上君田生活改善センター
	松岡地区公民館
	大能生活改善センター

* 会場の案内等、詳しくは11月5日発行の新聞折込みチラシ「市議会のお知らせ」をご覧ください。

市議会のホームページをご覧ください

市議会では、開かれた議会のために、様々な情報をホームページを通して提供しています。高萩市のホームページから入ることができます。ぜひご利用ください。
<http://www.city.takahagi.ibaraki.jp/index.php>

議 会 日 誌

27日	8月	議会運営委員会
28日		震災復興等対策特別委員会 議会全員協議会
5月24日	9月	第3回定例会
24日		議会たより編集特別委員会
30日		高萩・北茨城広域工業用水道企業 団議会定例会
9日	10月	議会たより編集特別委員会
14日		県北市議会議長会定例会
17日		震災復興等対策特別委員会
20日		議会たより編集特別委員会
21日		茨城県市議会議長会理事会 ・定例会
22日		国道6号整備促進期成会設立総会 高萩塙線整備促進のための高萩市 ・埴町両議会議員交流研修会
24日		議会全員協議会
30日		平成26年度第1回議員研修会

市民の声

一般質問を傍聴して（高萩高等学校3年）

東本町 後藤 萌花さん

今まで味わったことのない緊張感に、思わず聞き入ってしまいました。FMやSLや小中学校のことなど、どれもが家族で「こうしたほうがいいよね」と話したことがある内容で、議員さんが市民の願いを代表して質問してくれていることを嬉しく感じました。高校生にも地元のためにできることが沢山あると思います。これから、高萩市のために自分にできることは何かを考えていきたいと思っています。



安良川 藤田 雅人さん

FMについての議論は、とても重要だと感じました。中学3年の時に東日本大震災で被災し、ライフラインが断絶していた中で、唯一情報を得ることができたのはラジオでした。高萩防災FMは、他県の情報もカバーしており、とても救われた記憶があります。今では、コミュニティFMとして、地域の情報を分かりやすく発信してくれていると知りました。傍聴を機に、高萩市のことに積極的に関わって少しでも地元の活性化の力になりたいと思います。

傍聴においでください

第4回定例会（12月）予定

- 12月5日（金） 本会議 議案上程
8日（月） 本会議 一般質問
9日（火） 本会議 一般質問
11日（木） 本会議 議案質疑
12日（金） 文教厚生委員会
15日（月） 総務建設経済委員会
16日（火） 震災復興等対策特別委員会
18日（木） 本会議 採決

※日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	○	○
総務建設経済委員会 文教厚生委員会	○	○
震災復興等対策 特別委員会	○	

市のホームページの「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用しています。使用環境によっては、見られない場合があります。

議会だより
編集特別委員会

委員長 大足 光司
副委員長 田所 和雄
委員 今川 敏宏
岩倉 幹良
小宅 毅誠
飯田 昭伸
我妻 康伸

編集後記
9月定例会が開かれるなか、県立高萩高校の3年生が社会科学授業の一環として市議会の傍聴を行いました。その感想文が寄せられましたので、本号に掲載させていただきます。60年前の11月に2町1村などが合併して高萩市が誕生しました。その節目の年にあたり、ここまで発展した本市の沿革を顧みたり、個人的な思い出など、語り合える機にできたらと思います。今年の夏、四国地方で深刻な被害をもたらした土砂災害、局地的に起きる集中豪雨など、「想定外」との言語が頻発するなか、「災害に強いまちづくり」の大切さを痛感させられました。（我妻康伸記）